

小田原市長 小澤 良明 様

平成 17 年 3 月 4 日
すてきな小田原をめざす 100 人委員会

ボートピア設置に関する公開質問状

【趣旨】

謹啓 貴職におかれましては、日頃より市民の安全と安心の向上のためにご尽力賜り、心より感謝申し上げます。

既にご承知の通り、小田原駅前の商業ビル内にボートピアを設置しようという動きが平成 16 年夏に急浮上しましたが、周辺市民らによる約 2 万 5 千の反対署名が集まる中で、ビル管理組合側の自主的な取り下げにより、誘致計画はいったん姿を消したかに思われました。

その後、平成 17 年に入り、ボートピア設置事業者ならびに地元自治会より、ボートピア設置への賛同を求める陳情書が提出され、この問題がまだ終わっていないことを市民は知りました。3 月議会において、この賛成を求める 2 陳情と、「すてきな小田原をめざす 100 人委員会」が昨年 12 月に提出した「小田原駅周辺へのギャンブル進出反対決議を求める陳情」が一括審査される予定です。

これ以上のギャンブル施設を小田原に受け入れるかどうか、という選択は、「歴史と文化のかおる町」小田原にとって極めて影響の大きい問題です。ボートピア設置の認可要件として、国土交通省は、①地元自治会の同意、②首長の同意、③地元議会の反対がないこと、の 3 点を掲げており、それぞれの主体がどのように判断および意思表示をするかが、この問題の動向を決定することになっております。

本年 1 月、旧丸井ビルへの誘致計画再燃の時、小澤市長が定例記者会見にて「市民学習フロア設置の趣旨に反する」として、旧丸井ビルへのボートピア誘致計画を事実上拒否された発言に、多くの市民が勇気付けられました。実際に、この発言報道の後に、事業計画者は旧丸井ビルでの計画を断念、別の場所での設置計画に変更がなされました。この事実は、まさに、首長の意思表示の重さをはっきりと示しております。

しかしながら、設置事業者はその後、旧丸井ビルとは別の場所で、当該地権者の同意も得た上で新たな設置計画を立案し、同意を求める陳情を市議会に提出しております。

そのような予断を許さぬ状況下、私たち市民は、小澤良明市長が実際に今回のボートピア問題に対しどのような判断と意思表示をされるのかに対し、重大な関心を持っております。この度、小澤良明市長に公開質問状への回答をお願いし、市民に広くその結果を周知させて頂くことと致しました。なお、同趣旨の公開質問状を、全市議会議員、ならびに地元である 2 区自治会役員にも同時にお送りいたしました。

つきましては、別紙の質問に対しご回答頂き、期日内にご返送願いたく、お願いする次第です。市議会開会中でお忙しいとは存じますが、趣旨をご理解頂き、ご協力賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

謹白

☆別紙アンケート用紙にご記入の上、3月10日（木）迄に、同封封筒にてご投函願います。
☆ご回答の有無、およびご回答の内容は、広報紙等ならびにWEB上で一般に公開の予定です。
公開予定WEB アドレス・・・<http://homepage3.nifty.com/art-vivre/boatpia.html>

【質問項目】

- ① あなたは、今議会に陳情提出された小田原駅前へのボートピア設置計画に対し、どのようにお考えですか？下記の選択肢のいずれかを○で囲んで頂き、その理由を簡単にご記入願います。

- a. 設置に賛成である b. 設置に反対である c. 判断しかねる

理由：

- ② あなたは、小田原駅周辺における新たなギャンブル施設の設置についてどうお考えですか？下記の選択肢のいずれかを○で囲んで頂き、その理由を簡単にご記入願います。

- a. 設置しても構わない b. 設置すべきでない c. 判断しかねる

理由：

- ③ 小田原駅周辺の商業活性化に向け、小田原市として取り組むべきと思われる政策を、優先順位の高いものから幾つかご提言願います。

1.

2.

3.

ご記入日 平成 17 年 3 月 日

ご署名

【ご協力ありがとうございました。】